

数量総括表（設計書）

頁0-0001

工事区分(項目)・工種・種別・細別	規 格	単 位	数量 (前回)	数量 (今回)	摘 要
本 工 事					
クビアカツヤカミキリ防除業務		1 式			Y08ZZ
朱雀中央公園・梅林公園		1 式			Y0810
防除業務		1 式			Y0810230
薬剤樹幹注入		1 式			Y081023048D
薬剤樹幹注入	対象：被害木	孔		633	G1000
ウッドスター注入器		セット		1	W1001
注入補助器		箱		1	W1002
被害木のネット巻きつけ		1 式			Y081023048D
ネット巻き付け	幹周0.6～0.89m	本		6	G2060
ネット巻き付け	幹周0.9～1.19m	本		5	G2090
ネット巻き付け	幹周1.2～1.49m	本		12	G2120

数量総括表（設計書）

頁0-0002

工事区分(項目)・工種・種別・細別	規 格	単 位	数量 (前回)	数量 (今回)	摘 要
ネット巻き付け	幹周1.5～1.79m	本		12	G2150
ネット巻き付け	幹周1.8～2.09m	本		9	G2180
ネット巻き付け	幹周2.1～2.39m	本		1	G2210
被害木の巡回調査		1 式			Y081023048D
巡回調査		本		360	G3000
フラス排出孔への薬剤噴射		1 式			Y081023048D
フラス排出孔薬剤噴射		本		11	G5000

数量総括表（設計書）

頁0-0003

工事区分(項目)・工種・種別・細別	規 格	単 位	数量 (前回)	数量 (今回)	摘 要
** 直接工事費 **		1 式			
共通仮設費 (率分)		1 式			
** 共通仮設費計 **		1 式			
** 純工事費 **		1 式			
現場管理費		1 式			
** 工事原価 **		1 式			
一般管理費等		1 式			
** 一般管理費等計 **		1 式			
** 工事価格 **		1 式			
** 工事価格計 **		1 式			
消費税・地方消費税額		1 式			
** 請負工事費 **		1 式			

数量総括表（設計書）

頁0-0004

工事区分(項目)・工種・種別・細別		規 格	単 位	数量 (前回)	数量 (今回)	摘 要
薬剤樹幹注入		対象：被害木				G1000
土木一般世話役			人			RA125
普通作業員			人			RA010
特殊作業員			人			RA005
特殊作業員			人			RA005
諸雑費		ドリル損料等	式		1	W0003
ウッドスター		4.5ml/孔 (4ml＋ロス率12.5%加算)	孔		100	W0001
カットパスターHI		2 g／孔	孔		100	W0002
小計			孔		100	
計			孔		1	

数量総括表（設計書）

頁0-0005

工事区分(項目)・工種・種別・細別		規 格	単 位	数量（前回）	数量（今回）	摘 要
ネット巻き付け		幹周0.6～0.89m				G2060
土木一般世話役			人			RA125
普通作業員			人			RA010
特殊作業員			人			RA005
車両経費			式		1	W0003
クビアカガードネット W=1.8m			m		12.5	W1001
付属品		固定ピン、ワッシャー、その他部材	式		1	W2001
小計			本		10	
計			本		1	

数量総括表（設計書）

頁0-0006

工事区分(項目)・工種・種別・細別		規 格	単 位	数量（前回）	数量（今回）	摘 要
ネット巻き付け		幹周0.9～1.19m				G2090
土木一般世話役			人			RA125
普通作業員			人			RA010
特殊作業員			人			RA005
車両経費			式		1	W0003
クビアカガードネット W=1.8m			m		15.5	W1002
付属品		固定ピン、ワッシャー、その他部材	式		1	W2002
小計			本		10	
計			本		1	

数量総括表（設計書）

頁0-0007

工事区分(項目)・工種・種別・細別		規 格	単 位	数量（前回）	数量（今回）	摘 要
ネット巻き付け		幹周1.2～1.49m				G2120
土木一般世話役			人			RA125
普通作業員			人			RA010
特殊作業員			人			RA005
車両経費			式		1	W0003
クビアカガードネット W=1.8m			m		18.5	W1003
付属品		固定ピン、ワッシャー、その他部材	式		1	W2003
小計			本		10	
計			本		1	

数量総括表（設計書）

頁0-0008

工事区分(項目)・工種・種別・細別		規 格	単 位	数量（前回）	数量（今回）	摘 要
ネット巻き付け		幹周1.5～1.79m				G2150
土木一般世話役			人			RA125
普通作業員			人			RA010
特殊作業員			人			RA005
車両経費			式		1	W0003
クビアカガードネット W=1.8m			m		21.5	W1004
付属品		固定ピン、ワッシャー、その他部材	式		1	W2004
小計			本		10	
計			本		1	

数量総括表（設計書）

頁0-0009

工事区分(項目)・工種・種別・細別		規 格	単 位	数量（前回）	数量（今回）	摘 要
ネット巻き付け		幹周1.8～2.09m				G2180
土木一般世話役			人			RA125
普通作業員			人			RA010
特殊作業員			人			RA005
車両経費			式		1	W0003
クビアカガードネット W=1.8m			m		24.5	W1005
付属品		固定ピン、ワッシャー、その他部材	式		1	W2005
小計			本		10	
計			本		1	

数量総括表（設計書）

頁0-0010

工事区分(項目)・工種・種別・細別		規 格	単 位	数量 (前回)	数量 (今回)	摘 要
ネット巻き付け		幹周2.1～2.39m				G2210
土木一般世話役			人			RA125
普通作業員			人			RA010
特殊作業員			人			RA005
車両経費			式		1	W0003
クビアカガードネット W=1.8m			m		27.5	W1006
付属品		固定ピン、ワッシャー、その他部材	式		1	W2006
小計			本		10	
計			本		1	

数量総括表（設計書）

頁0-0011

工事区分(項目)・工種・種別・細別	規 格	単 位	数量（前回）	数量（今回）	摘 要
巡回調査					G3000
造園工		人			RA020
普通作業員		人			RA010
車両経費・諸雑費		式		1	W0001
小計		本		500	
計		本		1	

数量総括表（設計書）

頁0-0012

工事区分(項目)・工種・種別・細別	規 格	単 位	数量（前回）	数量（今回）	摘 要
フラス排出孔薬剤噴射					G5000
土木一般世話役		人			RA125
造園工		人			RA020
車両経費・諸雑費		式		1	W0003
ロビンフット		本		1	W0101
機械経費	ブローア－等	式		1	W0102
小計		本		10	
計		本		1	

事務所 設計書名 変更回数	04 佐野市 実施設計書 当初 06-04001200000-40 0		
適用単価区分 適用単価地区 適用単価世代	1 実施単価 91 安足土木管内①(旧佐野) 0-060710(0)		
諸経費体系 ファイル名	1 一般公共 朱雀中央公園外クビアカツヤカミキリ防除業務委託. ES5		
	当 世 代	前 世 代	
前払率 工種 現場環境改善費 市街地補正区分 交通規制区分 ゼロ債務工事に係る補正 週休二日補正区分 契約保証方法 ICT間接费率補正の有無 消費税等の率	40 14 河川維持工事 00 計上しない 12 市街地以外 03 一般交通影響なし 01 補正なし 01 補正なし 03 補正なし 01 補正なし 06 1 0 %適用		
この「参考資料」は、入札参加者の適正かつ迅速な見積りに資するための資料であり、契約書 第一条にいう設計図書ではない。			

朱雀中央公園外クビアカツヤカミキリ防除業務委託仕様書

第1章 総則

第1条 適用

業務の実施にあたっては、本仕様書によるもののほか、「栃木県クビアカツヤカミキリ防除対策マニュアル」及びこれらに関連する図書等によるものとする。

第2条 履行場所

本業務の履行場所は、朱雀中央公園及び梅林公園とする。

第3条 履行期限は令和7年1月31日までとする。

第4条 安全管理

- 1 作業の施行にあたっては、安全の確保を全てに優先させ、労働安全衛生法等関連法令に基づく措置を常に講じておくこと。また、交通や来園者等に危険のないように十分注意して行う。
- 2 ガソリン、薬品等の危険物を使用する場合は、その保管及び取り扱いについて、関係法令の定めるところに従い、万全の方策を講ずる。
- 3 作業の施行にあたり、施設、樹木等を損傷しないよう十分注意して施行する。万一損傷した場合は、直ちに監督職員に報告するとともに応急措置を取り、受託者の負担で原形に復旧する。
- 4 人身事故、災害、または第三者に損害を与える事故等が発生した場合は、応急処置及び二次災害防止措置を講ずるとともに、事故発生の原因、経過及び事故による被害の内容等について、直ちに監督職員に報告する。
- 5 作業機械や道具類、剪定枝葉や刈草、土砂、ごみ類は、交通及び保安上の障害とならないよう、作業の都度整理し、速やかに搬出する。風等で園路や近隣に散乱しないように注意する。
- 6 架空線（高圧線、通信線等）の影響や急傾斜地等、作業の安全性が確保できない場合は、その後の対応について監督職員と協議すること。
- 7 注入作業前に作業を予告する看板を設置すること。また、作業中及び作業後（1日程度）についてもそれぞれ看板を設置し、通行者等へ注意喚起すること。
- 8 注入作業中及び作業後（1日程度）においては、上記7に併せて、通行者等が対象木へ接触しないよう縄囲い等を設置し、人体に被害を及ぼさないようにすること。

第2章 防除作業

第5条 一般事項

- 1 作業着手前に現地調査を入念に行い、手戻り等が生じないよう作業手順を検討すること。
- 2 関係者や関係機関との事前調整を行い、必要な手続きを行うこと。
- 3 現地調査の上、設計条件（提示した数量等と差異が生じた場合など）に相違が生じた際は、監督職員と協議すること。
- 4 別記様式「クビアカツヤカミキリ調査票」の内容を踏まえて本業務を実施すること。

第6条 被害木への薬剤樹幹注入

- 1 対象木
 - (1) クビアカツヤカミキリの幼虫によりフラスが発生しており、枯死状態ではないと判断できる桜の木とする。
- 2 使用薬剤

- (1) クビアカツヤカミキリ防除用の殺虫剤であるウッドスター（農林水産省登録第23624号）を使用すること。
 - (2) 薬剤はメーカー等で定めている使用安全基準、使用方法を遵守すること。
 - (3) 使用する薬剤を変更する必要がある場合は、監督職員と協議し、承諾を得ること。
- 3 注入孔の開孔作業（図1を参照。）
- (1) 幹の地際部に電動ドリルにて穴をあけること。地際部付近に食入孔がある場合は、その場所を避けること。
 - (2) 穴径はφ5mm～φ10mm程度とし、斜め下方に約45度傾け、深さ6cm～7cm程度削孔すること。
- 4 薬剤注入作業（図1を参照。）
- (1) 注入孔に補助器を差し込みセットすること。
 - (2) 専用注入器にて適量（薬剤説明書に記載された注入部樹木直径に応じた使用量）の薬剤を注入孔に注入すること。なお、1孔あたりの注入量や注入孔間隔などは薬剤説明書に従うこと。
 - (3) 注入が完了したことを確認した後、補助器を引き抜くこと。
 - (4) カットパスターを使用し、注入孔を塞ぐこと。
 - (5) 作業時期は、幹内の水の吸い上げが旺盛な時期かつクビアカツヤカミキリの幼虫が活発となる時期を基本とする（開花期はミツバチなどへ影響を及ぼす恐れがあるため避けること）が、監督職員と協議の上、決定すること。
 - (6) 通行者等に危険のないように十分注意して行うこと。（詳細は、「第4条 安全管理」参照）
 - (7) 薬剤注入作業から数日経過後のフラス排出状況を目視により観察し、その結果を別記様式「クビアカツヤカミキリ調査票」に記入すること。なお、新たなフラス排出状況を確認しやすくするため、木の周りに蓄積したフラスや木に付着したフラスを除去しておくこと。

第7条 被害木へのネット巻き付け

1 対象木

- (1) クビアカツヤカミキリの幼虫に被害されているとともに枯死状態ではないと判断できる桜の木とする。

2 使用材料

- (1) クビアカツヤカミキリの侵入・産卵脱出抑制専用ネットであるクビアカガードネット®を使用すること。
- (2) 使用する材料のメーカー等で定めている使用方法を遵守すること。
- (3) 使用する材料を変更する必要がある場合は、監督職員と協議し、承諾を得ること。

3 ネット巻き付け作業

- (1) ネット巻き付け方法は、「クビアカガードネット施工手順要領書」の「ストレート巻き」を地上1.8mの高さまで設置することを基本とする。また、地上1.8mの高さ以下で複数枝分かれが生じた場合は、「複数主枝連結巻き」を地上1.8mの高さまで設置することとする。
なお、地上1.8mの高さより上部において、クビアカ侵入形跡（成虫脱出孔、フラス排出孔がある）が確認できる場合は、クビアカガードネットの残材を使用して当該部分を覆うように巻き付けること。
- (2) (1)の巻き付け方法の疑義がある場合や別な方法で設置する場合は、監督職員と協議し、承諾を得ること。なお、「クビアカガードネット施工手順要領書」に示された株元の防草アグリシートの設置は行わないものとし、地上に露出した根や切り株への被覆は防草アグリシートではなくクビアカガードネットの残材を使用すること。
- (3) ネット巻き付けが完了したら、ネットと樹が密着していないか、樹とネットと

- の間やネットとネットの合わせ目に隙間がないかを確認すること。
- (4) ネット巻き付け時期は、8 月までに完了させることが望ましいが、具体的な作業日程は、監督職員と協議の上、決定すること。※成虫飛散時期（6 月～8 月）
 - (5) 通行者等にネット設置の意義がわかるよう看板を設置すること。詳細（看板素材、設置間隔、内容など）については、監督職員と協議の上、決定すること。
 - (6) ネット巻き付け作業日や作業日における対象木の被害状態などを別記様式「クビアカツヤカミキリ調査票」に記録すること。
 - (7) ネット巻き付け作業及び看板設置が完了したら、監督職員に報告の上、現地で設置状況の確認を受けること。

第 8 条 被害木の巡回調査

1 対象木

- (1) 第 7 条と同様とする。

2 巡回調査の方法

- (1) 被害木の巡回調査は、ネット巻きが完了した翌週から開始し、合計 8 回（週 1 回が目安）実施する。なお、巡回最終回においては、被害状況（フラス排出状況、フラス排出孔数、樹液量、枯れの状況など）も併せて観察すること。
- (2) 巡回調査を実施する時間は、成虫の動きが活発化する 10 時～15 時の間とする。また、雨天時及び低温時の調査は極力避け、晴天時かつ高温時に調査を実施すること。
- (3) 巡回調査は、被害木の被害の変化（新たなフラス排出、フラス排出停止など）の把握、ネットの状態確認（隙間や破れ等が生じていないか、生じていた場合はその補修を行うこと）、ネット内部及び外部の成虫の生息状況の確認を実施する。
- (4) 巡回時に成虫を発見した際は、殺虫剤による噴射もしくは踏みつぶすなどにより速やかに捕殺すること。
- (5) 被害木の周辺にある桜の木（契約時においては未被害木）についても目視確認し、新たな被害（成虫が木にいる、交尾している、フラス排出など）が発見された場合は、監督職員へ報告すること。
- (6) 巡回調査結果（巡回調査日、時間、天気、気温、被害木やネットの状態、成虫有無と捕殺数、新たな被害木の発見など）を別記様式「クビアカツヤカミキリ調査票」に記録すること。

第 9 条 フラス排出孔への薬剤噴射

1 対象木

- (1) クビアカツヤカミキリの幼虫によるフラス排出が継続している桜の木とする。なお、新たにフラス排出が開始した桜の木も対象とする。

2 使用薬剤

- (1) 園芸用殺虫剤であるロビンフッド（農林水産省登録第 23780 号）を使用すること。
- (2) 薬剤はメーカー等で定めている使用安全基準、使用方法を遵守すること。
- (3) 使用する薬剤を変更する必要がある場合は、監督職員と協議し、承諾を得ること。

3 薬剤噴射作業

- (1) フラス排出が継続している食入孔の場所を把握し、フラスが木に付着している場合は硬いブラシやブロワー等で取り除くこと。なお、新たなフラス排出状況を確認しやすくするため、木から取り除いたフラスや木の周りに蓄積したフラスを除去しておくこと。
- (2) 食入孔の中にフラスが詰まっているようであれば、針金等で掻き出すこと。
- (3) ロビンフッドのノズルの先を食入孔に挿入し、噴射する。
- (4) 薬剤が逆流し、あふれ出すまで噴射すること。また、逆流した薬剤が実や葉にかからないように注意すること。

- (5) 1 孔あたりの噴射回数は 1 回を基本とするが、効果を発揮させるために複数回の噴射をすることも想定されるため、監督職員の指示に従うこと。
- (6) 薬剤噴射時期は、ネット取り外し後を基本とするが、ネット設置中であってもフラス排出が顕著な場合は、監督職員と協議の上、薬剤噴射を実施する。
- (7) 日中高温時、強風時、降雨前の使用は避けること。
- (8) 通行者等に危険のないように十分注意して行うこと。（詳細は、「第 4 条 安全管理」参照）
- (9) 薬剤の飛散により第三者に被害が発生した場合は、受注者が全責任を負うものとする。
- (10) 薬剤噴射作業日や作業日における対象木の被害状態などを別記様式「クビアカツヤカミキリ調査票」に記録すること。また、薬剤噴射作業から数日経過後のフラス排出状況を目視により観察し、その結果も併せて記録すること。

第 10 条 作業管理

1 提出書類

- (1) 受注者は、作業管理にあたり作業実施状況の写真管理等を行い、その記録及び関係書類を作業管理報告書として作成・整理し、製本 1 部（報告書作成に要した Excel 等の電子データを格納した CD 等を含む）を完了時に提出するものとする。
- (2) 作業管理報告書には別記様式「クビアカツヤカミキリ調査票」を添付すること。
- (3) 写真帳は作業実施が確認できるよう、着手前後、作業状況写真、使用薬剤等について、下表のとおり撮影すること。

区分	撮影項目	撮影頻度〔時期〕	備考
着手前・完成	全景、接写	公園ごとに 1 箇所以上	
作業状況写真	全景、接写	公園ごとに 1 箇所以上	
観察状況写真	全景、接写	フラス排出が続いている全ての樹木、フラス排出が停止した樹木 1 箇所以上	
安全管理	各種看板類の設置状況	公園ごと、看板種類（作業前予告、作業中、作業後）ごとに 1 箇所以上	
	保安施設等（縄囲いなど）の設置状況	公園ごとに 1 箇所以上	
使用材料	納入状況、保管状況	品目ごとに 1 回〔使用前〕	薬剤、専用注入器、補助器等、本業務で調達した材料すべて
	使用数量	品目ごとに 1 回〔使用前後〕	
災害	被災状況及び被災規模等	その都度〔被災前〕〔被災直後〕〔被災後〕	発生前は付近の写真でも可
事故	事故の状況	その都度〔発生前〕〔発生直後〕〔発生後〕	

第 11 条 その他

この仕様書に定めのない事項は必要に応じて発注者と受注者が協議の上で決定するものとする。

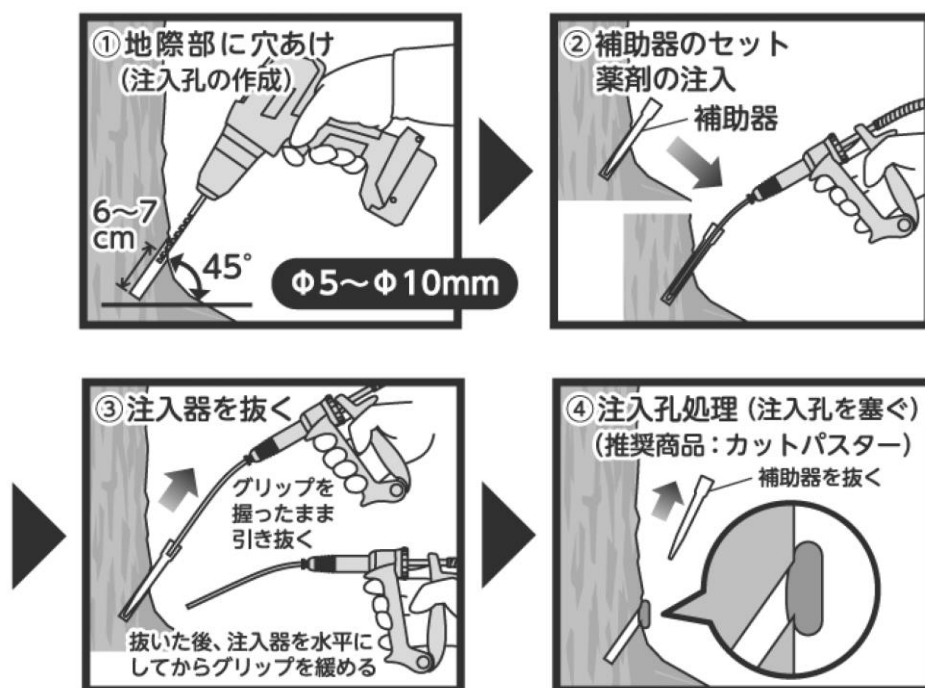


図 1 薬剤樹幹注入方法

別記様式「クビアカツヤカミキリ調査票」

公園名:朱雀中央公園

対象樹種:桜(品種は問わない)

(想定本数:60本)

事前調査実施日:令和6年2月28日

*処理を実施した場合は、表の右側に列を追記する

令和6年2月28日現在

[illegible]

被害木の把握調査:令和6年2月28日						処理履歴①				処理履歴②				処理履歴③			
樹木 No	幹周 (cm) ※1	直径 (cm)	被害状況 ※2	被害判定 ※3	備考	処理内容 ※4	処理日	処理者 ※5	備考 (処理後状況、費用、 委託名等)	処理内容 ※4	処理日	処理者 ※5	備考 (処理後状況、費用、 委託名等)	処理内容 ※4	処理日	処理者 ※5	備考 (処理後状況、費用、 委託名等)
35	140	44.6	フラス少	3													
36	95	30.3	フラス少	3													
37	88	28	フラス少	3													
38	108	34.4	フラス少	3													
39	159	50.6	フラス多	4													
40	175	55.7	フラス多	4													
41	152	48.4	フラス多	4													
42	155	49.4	フラス多	4													
43	136	43.3	フラス多	4													
44	98	31.2	被害なし	2													
45	165	52.5	フラス多	4													
46	120	38.2	フラス少	3													
47	185	58.9	フラス多	4													
48	199	63.4	フラス多	4													
49	181	57.6	フラス多	4													
50	172	54.8	フラス多	4													
51	180	57.3	フラス多	4													
52	98	31.2	フラス少	3													
53	133	42.4	フラス多	4													
54	127	40.4	被害なし	2													
55	140	44.6	被害なし	2													
56	166	52.9	フラス多、脱出孔あり	4													
57	160	51	被害なし	2													
58		0															
59		0															
60		0															

集計(R6.3.15現在)

切株(判定0)	0	0
被害なし(判定1)	1	25
被害なし(判定2)	24	
被害あり(判定3)	16	32
被害あり(判定4)	16	
被害あり(判定5)	0	

☞未被害木

☞被害木

被害木の把握調査:令和6年2月28日						処理履歴①				処理履歴②				処理履歴③			
樹木 No	幹周 (cm) ※1	直径 (cm)	被害状況 ※2	被害判定 ※3	備考	処理内容 ※4	処理日	処理者 ※5	備考 (処理後状況、費用、 委託名等)	処理内容 ※4	処理日	処理者 ※5	備考 (処理後状況、費用、 委託名等)	処理内容 ※4	処理日	処理者 ※5	備考 (処理後状況、費用、 委託名等)

※フラス排出孔1箇所の場合は、薬剤樹幹注入しない。

※1 幹周は、地際から1.3m部を測定。

※2 フラス排出孔数(10個以上:多、9~4個:中、3~1箇所:少)、フラスの量(多い、少ない)、成虫脱出孔(多数、1~2箇所程度)、樹液(多量、少量)などを記入

※3 被害判定(被害)リスト

5 :フラス排出孔が多、2/3以上の枝の枯れなど、枯死する可能性が極めて高いもの ⇒伐倒
4 :フラス排出孔が中、フラス多、成虫脱出孔多数、樹液多量のもの ⇒薬剤樹幹注入、ネット巻き、巡回
3 :フラス排出孔が少、フラス少、成虫脱出孔1~2箇所程度、樹液少量のもの ⇒薬剤樹幹注入または薬剤噴射、ネット巻き、巡回
2 :被害無し(フラス排出なし) 近年において産卵の可能性のある樹木(幹周50cm以上)⇒ネット巻き(※)、巡回
1 :被害無し(フラス排出なし) 近年において産卵の可能性がない樹木(幹周50cm未満の若木) ⇒巡回
0 :伐採した後の切り株⇒ネット巻き(幼虫の入り込みの可能性のあるもののみ)、巡回
⇒未被害木、微害木すべてに樹幹注入を予防も兼ねて行うことは推奨されていない。樹幹注入剤は、予防剤ではなく、木にドリルで多数の穴をあけることから、無用のストレスを木に与えることになる。

※ 2は未被害木のため、ネット巻きが環境省交付金の対象にできない。ネット巻きをやる場合は、直営により実施する。

※4 処理内容リスト

薬剤樹幹注入(ウツスター)
観察(巡回)
ネット巻き(幹)
ネット巻き(切り株)
ネット外し
ネット補修
薬剤噴射(ロビンソン)
枯れ枝剪定
伐倒(伐根あり)
伐倒(伐根なし)
成虫捕殺
その他

※5 処理者リスト

業務委託(材料含む)
業務委託(材料支給)
業務委託(伐採、剪定)
直営(材料新規購入)
直営(材料既存使用)
直営(材料使用なし)
直営(伐採)

全数巡視実施日、業務名及び業者名(上表には追加分のみ記載)

実施日	業務名	業者名

別記様式「クビアカツヤカミキリ調査票」

公園名: 梅林公園

対象樹種:桜(品種は問わない)

事前調査実施日:令和6年2月28日

*処理を実施した場合は、表の右側に列を追記する

令和6年2月28日現在

[illegible]

被害木の把握調査:令和6年2月28日						処理履歴①				処理履歴②				処理履歴③			
樹木 No	幹周 (cm) ※1	直径 (cm)	被害状況 ※2	被害判定 ※3	備考	処理内容 ※4	処理日	処理者 ※5	備考 (処理後状況、費用、 委託名等)	処理内容 ※4	処理日	処理者 ※5	備考 (処理後状況、費用、 委託名等)	処理内容 ※4	処理日	処理者 ※5	備考 (処理後状況、費用、 委託名等)
38	70	22.3	被害なし	2													
39	66	21	被害なし	2													
40	100	31.8	被害なし	2													
41	126	40.1	被害なし	2													
42	131	41.7	被害なし	2													
43	81	25.8	被害なし	2													
44	112	35.7	被害なし	2													
45	90	28.7	被害なし	2													
46	92	29.3	被害なし	2													
47	106	33.8	被害なし	2													
48	108	34.4	被害なし	2													
49	78	24.8	被害なし	2	被害はないが、空洞有 伐採検討	伐倒(伐根なし)			直営伐採(業桜になったら)								
50	118	37.6	被害なし	2													
51	196	62.4	被害なし	2													
52	85	27.1	被害なし	2													
53	108	34.4	被害なし	2													
54	95	30.3	被害なし	2													
55	78	24.8	被害なし	2													
56	105	33.4	被害なし	2													
57	86	27.4	被害なし	2													
58	93	29.6	被害なし	2													
59	106	33.8	被害なし	2													
60	106	33.8	被害なし	2													
61	92	29.3	被害なし	2													
62	91	29	被害なし	2													
63	114	36.3	被害なし	2													
64	20	6.4	被害なし	1	若木												
65	52	16.6	被害なし	2													
66		0	被害なし	1	若木												
67		0	被害なし	1	若木												
68		0	被害なし	1	若木												
69		0	被害なし	1	若木												
70		0															

集計(R6.3.15現在)

切株(判定0)	0	0
被害なし(判定1)	6	56
被害なし(判定2)	50	
被害あり(判定3)	9	13
被害あり(判定4)	4	
被害あり(判定5)	0	

☞未被害木

☞被害木

被害木の把握調査:令和6年2月28日						処理履歴①				処理履歴②				処理履歴③			
樹木 No	幹周 (cm) ※1	直径 (cm)	被害状況 ※2	被害判定 ※3	備考	処理内容 ※4	処理日	処理者 ※5	備考 (処理後状況、費用、 委託名等)	処理内容 ※4	処理日	処理者 ※5	備考 (処理後状況、費用、 委託名等)	処理内容 ※4	処理日	処理者 ※5	備考 (処理後状況、費用、 委託名等)

※フラス排出孔1箇所の場合は、薬剤樹幹注入しない。

※1 幹周は、地際から1.3m部を測定。

※2 フラス排出孔数(10個以上:多、9~4個:中、3~1箇所:少)、フラスの量(多い、少ない)、成虫脱出孔(多数、1~2箇所程度)、樹液(多量、少量)などを記入

※3 被害判定(被害)リスト

5 :フラス排出孔が多、2/3以上の枝の枯れなど、枯死する可能性が極めて高いもの ⇒伐倒
4 :フラス排出孔が中、フラス多、成虫脱出孔多数、樹液多量のもの ⇒薬剤樹幹注入、ネット巻き、巡回
3 :フラス排出孔が少、フラス少、成虫脱出孔1~2箇所程度、樹液少量のもの ⇒薬剤樹幹注入または薬剤噴射、ネット巻き、巡回
2 :被害無し(フラス排出なし) 近年において産卵の可能性のある樹木(幹周50cm以上) ⇒ネット巻き(※)、巡回
1 :被害無し(フラス排出なし) 近年において産卵の可能性がない樹木(幹周50cm未満の若木) ⇒巡回
0 :伐採した後の切り株⇒ネット巻き(幼虫の入り込みの可能性のあるもののみ)、巡回
⇒未被害木、微害木すべてに樹幹注入を予防も兼ねて行うことは推奨されていない。樹幹注入剤は、予防剤ではなく、木にドリルで多数の穴をあけることから、無用のストレスを木に与えることになる。

※ 2は未被害木のため、ネット巻きが環境省交付金の対象にできない。ネット巻きをやる場合は、直営により実施する。

※4 処理内容リスト

薬剤樹幹注入(ウッドスター)
観察(巡回)
ネット巻き(幹)
ネット巻き(切り株)
ネット外し
ネット補修
薬剤噴射(ピコソフト)
枯れ枝剪定
伐倒(伐根あり)
伐倒(伐根なし)
成虫捕殺
その他

※5 処理者リスト

業務委託(材料含む)
業務委託(材料支給)
業務委託(伐採、剪定)
直営(材料新規購入)
直営(材料既存使用)
直営(材料使用なし)
直営(伐採)

全数巡視実施日、業務名及び業者名(上表には追加分のみ記載)

実施日	業務名	業者名

位置図

佐野市設備業
協同組合

朱雀大橋

グラウンド 36.1

ソーラーパネル

秋山川堀米緑地 35.4

朱雀中央公園

朱雀中央公園

カワチ

佐野厚生総合病院

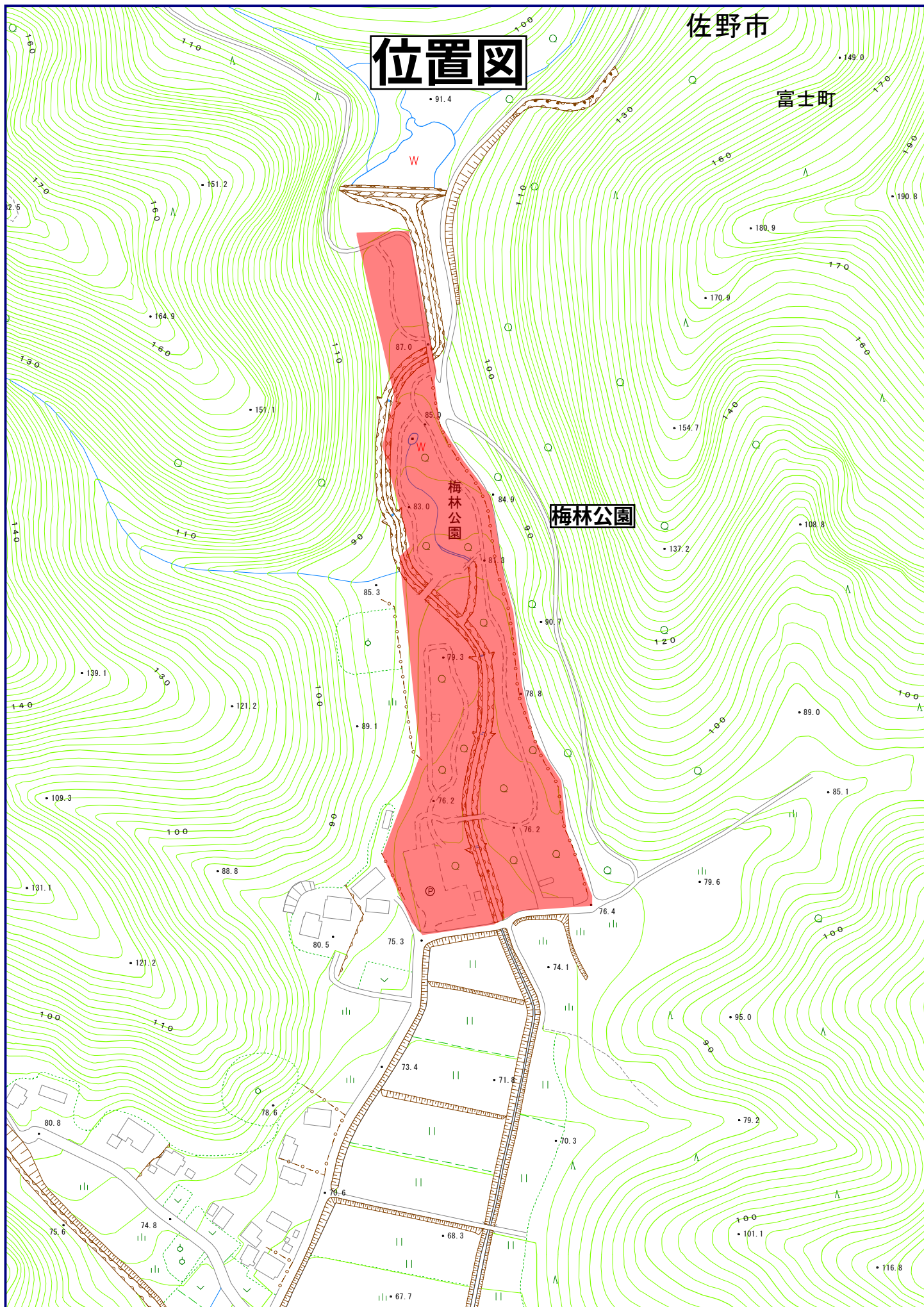
位置図

佐野市

富士町

梅林公園

梅林公園



朱雀中央公園外クビアカツヤカミギリ防除業務委託

数量計算書
(参考資料)

数量総括表

[illegible]

数量總括表

[illegible]

[illegible]

薬剤樹幹注入数量表

薬剤樹幹注入対象木

公園名:朱雀中央公園

対象樹種:桜(品種は問わない)

樹木 No	薬剤樹幹注入 樹木数(本)	幹周(cm) ※地際部	直径(cm)	使用薬剤量 (ml)	注入孔数 (孔)※1	使用量 (4ml/孔)
1	1	136.0	43	52	13	52
2	2	140.0	45	54	14	56
3						
4						
5						
6	3	185.0	59	71	18	72
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13	4	114.0	36	43	11	44
14	5	155.0	49	59	15	60
15						
16	6	164.0	52	62	16	64
17	7	190.0	61	73	19	76
18	8	192.0	61	73	19	76
19	9	194.0	62	74	19	76
20						
21						
22						
23	10	211.0	67	80	20	80
24						
25	11	56.0	18	22	6	24
26	12	132.0	42	50	13	52
27						
28						
29						
30						
31						
32						
33	13	78.0	25	30	8	32
34						
35	14	140.0	45	54	14	56
36	15	95.0	30	36	9	36
37	16	88.0	28	34	9	36
38	17	108.0	34	41	11	44
39	18	159.0	51	61	16	64
40	19	175.0	56	67	17	68

樹木 No	薬剤樹幹注入 樹木数(本)	幹周(cm) ※地際部	直径(cm)	使用薬剤量 (ml)	注入孔数 (孔)※1	使用量 (4ml/孔)
41	20	152.0	48	58	15	60
42	21	155.0	49	59	15	60
43	22	136.0	43	52	13	52
44						
45	23	165.0	53	64	16	64
46	24	120.0	38	46	12	48
47	25	185.0	59	71	18	72
48	26	199.0	63	76	19	76
49	27	181.0	58	70	18	72
50	28	172.0	55	66	17	68
51	29	180.0	57	68	17	68
52	30	98.0	31	37	10	40
53	31	133.0	42	50	13	52
54						
55						
56	32	166.0	53	64	16	64
57						
58						
59						
60						
合計	32				466	1864
ロス率12.5%加算						2097

注入部直径	注入量(ml)	孔数
6cm～10cm:	8～12	2～3
10cm～20cm:	12～24	3～6
20cm～30cm:	24～36	6～9
30cm～40cm:	36～48	9～12
40cm～50cm:	48～60	12～15
50cm～60cm:	60～72	15～18

以降、直径が10cm増すごとに12mlを追加する。

(※1cm増すごとに1.2ml追加する。)

1孔あたり4ml注入する。

※1 1孔あたり4ml注入する必要があるため、小数点以下切上げ

ネット巻付け数量表

ネット巻付け対象木

公園名:朱雀中央公園

対象樹種:桜(品種は問わない)

樹木 No	ネット巻付け樹木数 (本)	幹周(cm) ※地上1.3m部	直径(cm)
1	1	136	43.3
2	2	140	44.6
3			
4			
5			
6	3	185	58.9
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13	4	114	36.3
14	5	155	49.4
15			
16	6	164	52.2
17	7	190	60.5
18	8	192	61.1
19	9	194	61.8
20			
21			
22			
23	10	211	67.2
24			
25	11	56	17.8
26	12	132	42.0
27			
28			
29			
30			
31			
32			
33	13	78	24.8
34			
35	14	140	44.6
36	15	95	30.3

樹木 No	ネット巻付け樹木数 (本)	幹周 (cm) ※地上1.3m部	直径 (cm)
37	16	88	28.0
38	17	108	34.4
39	18	159	50.6
40	19	175	55.7
41	20	152	48.4
42	21	155	49.4
43	22	136	43.3
44			
45	23	165	52.5
46	24	120	38.2
47	25	185	58.9
48	26	199	63.4
49	27	181	57.6
50	28	172	54.8
51	29	180	57.3
52	30	98	31.2
53	31	133	42.4
54			
55			
56	32	166	52.9
57			
58			
59			
60			
合計	32	ネット巻き対象 平均直径:	47.3

・集計表

幹周	④ 対象本数	⑤ 必要ネット長 【平均幹周＋余裕 0.5(m)】	ネット長合計 ④×⑤
① 60cm～89cm:	3	1.25	3.75
② 90cm～119cm:	4	1.55	6.20
③ 120cm～149cm:	7	1.85	12.95
④ 150cm～179cm:	9	2.15	19.35
⑤ 180cm～209cm:	8	2.45	19.60
⑥ 210cm～239cm:	1	2.75	2.75
⑦ 240cm～269cm:	0	3.05	0.00
⑧ 270cm～299cm:	0	3.35	0.00
⑨ 300cm～329cm:	0	3.65	0.00
合計	32		64.60

※ 余裕0.5m:マニュアルによる余裕0.2m＋地際部広がり割増0.3m

[illegible]

薬剤樹幹注入数量表

薬剤樹幹注入対象木

公園名: 梅林公園

対象樹種: 桜(品種は問わない)

樹木 No	薬剤樹幹注入 樹木数(本)	幹周(cm) ※地際から1.3m部	直径(cm)	使用薬剤量 (ml)	注入孔数 (孔)※1	使用量 (4ml/孔)
1	1	185	59	71	18	72
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8	2	88.0	28	34	9	36
9						
10	3	144.0	46	55	14	56
11	4	141.0	45	54	14	56
12						
13	5	146	46	55	14	56
14	6	151	48	58	15	60
15	7	123	39	47	12	48
16	8	176	56	67	17	68
17						
18	9	87	28	34	9	36
19						
20	10	50	16	19	5	20
21						
22						
23						
24	11	156	50	60	15	60
25	12	114	36	43	11	44
26						
27	13	144	46	55	14	56
28						
29						
30						
31						
32						
33						
34						
35						
36						
37						
38						
39						
40						

樹木 No	薬剤樹幹注入 樹木数(本)	幹周(cm) ※地際から1.3m部	直径(cm)	使用薬剤量 (ml)	注入孔数 (孔)※1	使用量 (4ml/孔)
41						
42						
43						
44						
45						
46						
47						
48						
49						
50						
51						
52						
53						
54						
55						
56						
57						
58						
59						
60						
61						
62						
63						
64						
65						
66						
67						
68						
69						
合計	13				167	668
ロス率12.5%加算						752

注入部直径	注入量(ml)	孔数
6cm～10cm:	8～12	2～3
10cm～20cm:	12～24	3～6
20cm～30cm:	24～36	6～9
30cm～40cm:	36～48	9～12
40cm～50cm:	48～60	12～15
50cm～60cm:	60～72	15～18

以降、直径が10cm増すごとに12mlを追加する。

(※1cm増すごとに1.2ml追加する。)

1孔あたり4ml注入する。

※1 1孔あたり4ml注入する必要があるため、小数点以下切上げ

ネット巻付け数量表

ネット巻付け対象木

公園名:梅林公園

対象樹種:桜(品種は問わない)

樹木 No	ネット巻付け樹木数 (本)	幹周(cm) ※地上1.3m部	直径(cm)
1	1	185	58.9
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8	2	88	28.0
9			
10	3	144	46.0
11	4	141	45.0
12			
13	5	146	46.5
14	6	151	48.1
15	7	123	39.2
16	8	176	56.1
17			
18	9	87	27.7
19			
20	10	50	15.9
21			
22			
23			
24	11	156	49.7
25	12	114	36.3
26			
27	13	144	45.9
28			
29			
30			
31			
32			
33			
34			
35			
36			

伐採候補

樹木 No	ネット巻付け樹木数 (本)	幹周(cm) ※地上1.3m部	直径(cm)
37			
38			
39			
40			
41			
42			
43			
44			
45			
46			
47			
48			
49			
50			
51			
52			
53			
54			
55			
56			
57			
58			
59			
60			
61			
62			
63			
64			
65			
66			
67			
68			
69			
合計	13	ネット巻き対象 平均直径:	41.8

伐採候補

・集計表

幹周	㊦ 対象本数	㊧ 必要ネット長 【平均幹周＋余裕 0.5(m)】	ネット長合計 ㊦×㊧
① 60cm～89cm:	3	1.25	3.75
② 90cm～119cm:	1	1.55	1.55
③ 120cm～149cm:	5	1.85	9.25
④ 150cm～179cm:	3	2.15	6.45
⑤ 180cm～209cm:	1	2.45	2.45
⑥ 210cm～239cm:	0	2.75	0.00
⑦ 240cm～269cm:	0	3.05	0.00
⑧ 270cm～299cm:	0	3.35	0.00
⑨ 300cm～329cm:	0	3.65	0.00
合計	13		23.45

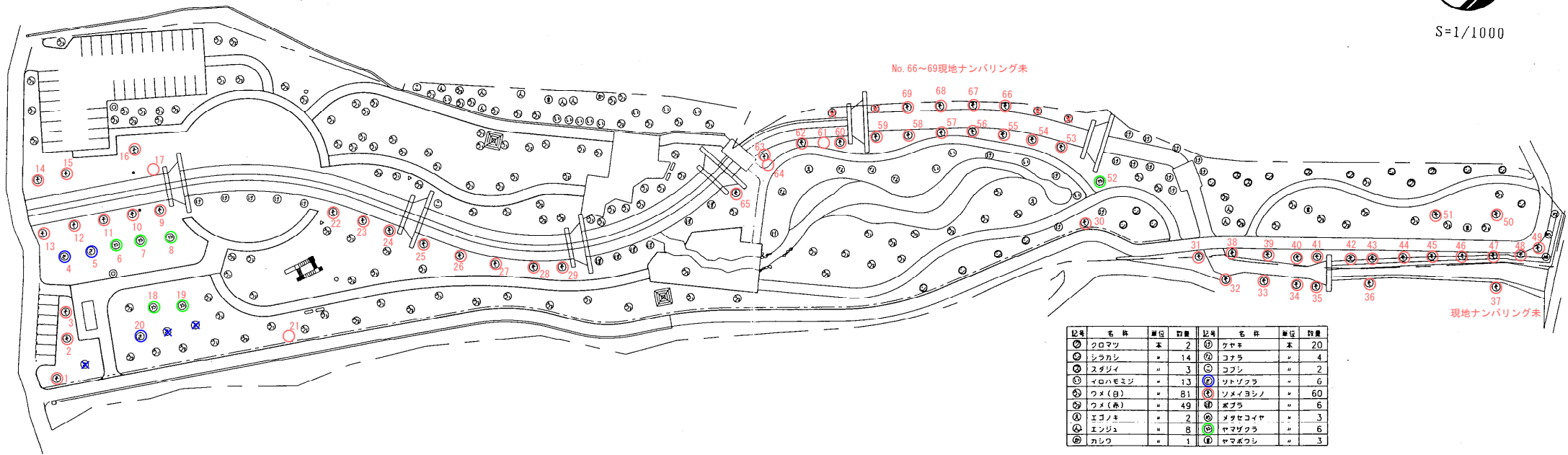
※ 余裕0.5m:マニュアルによる余裕0.2m＋地際部広がり割増0.3m

朱雀中央公園

-
- A detailed map of Zhuque Central Park, showing its irregular boundary and internal features like paths, ponds, and buildings. 57 numbered points are marked throughout the park, starting from the top left and following a roughly clockwise path. The points are numbered 1 through 57, with some points having additional letters (W, Q) next to them. The map is oriented with North at the top.
- 1
 - 2
 - 3
 - 4
 - 5
 - 6
 - 7
 - 8
 - 9
 - 10
 - 11
 - 12
 - 13
 - 14
 - 15
 - 16
 - 17
 - 18
 - 19
 - 20
 - 21
 - 22
 - 23
 - 24
 - 25
 - 26
 - 27
 - 28
 - 29
 - 30
 - 31
 - 32
 - 33
 - 34
 - 35
 - 36
 - 37
 - 38
 - 39
 - 40
 - 41
 - 42
 - 43
 - 44
 - 45
 - 46
 - 47
 - 48
 - 49
 - 50
 - 51
 - 52
 - 53
 - 54
 - 55
 - 56
 - 57



S=1/1000



記号	名称	単位	数量	記号	名称	単位	数量
①	クロマツ	本	2	⑩	クヤキ	本	20
②	シラカシ	本	14	⑪	コナラ	本	4
③	スダジイ	本	3	⑫	コブシ	本	2
④	イロハモミジ	本	13	⑬	サトザクラ	本	6
⑤	ウメ(白)	本	81	⑭	ソメイヨシノ	本	60
⑥	ウメ(赤)	本	49	⑮	ボブラ	本	6
⑦	エゴノキ	本	2	⑯	メタセコイヤ	本	3
⑧	エンジュ	本	8	⑰	ヤマザクラ	本	6
⑨	カシワ	本	1	⑱	ヤマボウシ	本	3

植栽(高木)平面図